

## 2024年度第1回西南フォーラム

# 『これからの大学教育のあり方 ～アフターコロナの学び方と教え方を考える』

2020年から数年間のコロナ禍において、本学でも多様なメディアを活用したオンデマンド授業や遠隔授業が実践され、新たな教育方法を見出す契機となりました。一方、学生にとっても、様々な変容が生じる中、多様なツールを駆使しながら学修を進めており、学び方も確実に変化しています。

今回のフォーラムでは、コロナ禍を経て、より鮮明となった、教育方法・学修方法の変化にスポットをあて、授業内容に合わせた多様なメディア、デジタルツールを用いた教育方法を実践している事例を紹介いただくとともに、学生・教職員 FD 推進部会の学生代表等も交え、学修方法の変化や学生が期待する授業のあり方についてディスカッションします。

学生の学修意欲、学修効果及び授業外学修時間の向上等に配慮した、効果的な教育方法のベストミックスを模索し、これからの大学教育のあり方を再考したいと思います。

全学的な FD・SD 活動の一環（機会）としても捉えていますので、皆さま、ぜひご参加ください。

日時:2024年7月3日(水)15:30~17:10(受付開始 15:00~)

会場:2号館201教室(ハイフレックス教室)

対象者:本学教職員、学生、学外者(福岡市西部地区五大学連携等)

### 【当日のスケジュール(予定)】

時間	項目・内容
15:30~15:35	開会挨拶・フォーラムの趣旨説明 <b>北垣 徹 副学長(教育・研究担当)</b> 学修に関するアンケート結果からみる、学生の学修方法、授業に対する要望の変化等
15:35~15:50	発題①本学教員の事例報告 <b>経済学部 亀井 慶太 准教授(「国際経済学」ほか)</b> 大規模クラスで遠隔と対面を組み合わせた授業を実施。動画による遠隔授業、講義中の理解度確認、授業実施後の小テスト等、受講者の知識や理解を定着させる工夫を実践。
15:50~16:05	発題②本学教員の事例報告 <b>外国語学部 杉山 香織 教授(「フランス語特別研究」、「言語学B」ほか)</b> AIや各種言語分析ソフトを活用した授業を実践。事前事後学修では、受講生にHPや動画作成等実践的な課題を課し、それらに対して手厚いフィードバックを実施。
16:05~16:15	発題③2023年度学生・教職員 FD 推進部会学生代表からの報告 <b>学生(国際文化学部4年)</b> 学修方法の変化とこれからの大学の授業のあり方に期待すること。
16:15~17:05	ディスカッション 発題者①、②、③ ファシリテーター <b>北垣 徹 副学長(教育・研究担当)</b>
17:05~17:10	閉会挨拶・総括: <b>北垣 徹 副学長(教育・研究担当)</b>